

第2部

これならできる 情報モラル指導実践例

今すぐできる情報モラル指導 — 児童生徒が自ら考える情報モラル —

p.16からの実践事例紹介に先だって、初めての先生でもすぐにできるお勧め指導例の公開です。



インターネットの
安全で正しい使い方を
簡単に教えたいのだけれど…

はい。日常の授業のなかで
できる指導例ですよ。



この教材「ネット社会の歩き方」を使います。



「ネット社会の歩き方」とは？

インターネットを安全に活用するための考え方やノウハウを学ぶための教材です。問題点を把握して考える学習を始めるために、アニメーションを用いた親しみやすい教材です。

「ネット社会の歩き方」は、財団法人コンピュータ教育開発センターが実施したプロジェクトで開発されました。このプロジェクトの成果が広く学校や家庭で活用されるよう、そして家庭への普及を目指して、Webサイト名称「ネット社会の歩き方」を公開しております。
(著作権は独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 及び経済産業省に帰属します。)

出典：「ネット社会の歩き方」(URLは、<http://www.cec.or.jp/net-walk/>)

(検索サイトで、「ネット社会の歩き方」をキーワードにして検索すると容易にアクセスできます。)

指導例

チェーンメールで
困っています…



こういう声が聞こえたら…
こういう声を聞く前に…

発問例

インターネットはわからないことを簡単に調べたり、自分の意見を世界へ発表したりできるとも便利なものです。でも、ルールやマナーを守らないと、せっかくできた友達とけんかになったり、トラブルに巻き込まれることもあります。そこで、このユニットを学習してみましょう。